



「火山、森、湖」

川湯温泉は、日本最大のカルデラ地形である阿寒摩周国立公園内に位置しており、火山、森、湖など原始的かつ多層的な自然の中にあります。歩いてまわれる街の輪郭は常に自然に接していて、この地を訪れた人は圧倒的な自然に包まれ、本能的な癒しを感じます。

「温泉の川」

街中を流れる温泉川は、

他に類を見ない川湯温泉最大の特徴です。

硫黄山の地熱により温められ屈斜路湖へと注がれる温泉川は、

大地の脈を感じると共に、川から上がる湯けむりが

街全体を魅力的に包みます。



「稀な泉質」

北海道随一、全国でも屈指の強酸性の泉質は、
一度入ると忘れられない記憶に残るお湯です。
この地でしか入ることの出来ない濃いお湯が、
訪れる人の体を温め心を溶かします。

泉質：酸性・含硫黄・鉄（Ⅱ）-ナトリウム-硫酸塩・塩化物泉
特徴：強酸性／pH1.7

草津温泉（群馬）pH2.0、玉川温泉（秋田）pH1.13、
蔵王温泉（山形）pH1.8と並ぶ、日本屈指の強酸性温泉



「道東の中心」

3つの空港から車で約1時間。東京・大阪などの都市から原始の自然にダイレクトにアクセス出来るのも魅力の1つ。

アクセスの豊富さから、道東観光のハブとしてのポテンシャルを秘めています。

また、釧路湿原国立公園・阿寒摩周国立公園・知床国立公園をつなぐ道東ロングトレイル^{※1}では、

中間地点に位置する川湯温泉がトレイル参加者が立ち寄る「トレイルタウン」^{※2}となり、

川湯を訪れる新たな目的地となります。

※1 環境省が構築に取り組んでいる道東にある3つの国立公園（釧路湿原国立公園、阿寒摩周国立公園、知床国立公園）をつなぐ全長約370kmのトレイルルート。

※2 トイレやトレイル情報、宿泊場所の提供をはじめ、ハイカーが集うトレイルルートの交流拠点となる街

